

# 花 育 情 報

☆花や緑に関する情報をお届けします

## 《8月のお花》 ヒマワリ



キク科の一年草  
原産地・・・北アメリカ  
開花時期・・・7月～10月  
花言葉・・・「笑顔」「元気」「あなただけをみつめる」



夏のお花といえば「ヒマワリ」を思い浮かべる方も多いですね。

学校で育てて、夏休みは家でお世話し、最後は種をとる、夏休みの1コマでした。

ヒマワリの種といえば・・・メジャーリーグで大活躍中の大谷選手が試合中に口に含んでいるのがヒマワリの種（食用）です。メジャーリーグではガムやアメと一緒にヒマワリの種が選手ベンチに置いてあるそうです。食べ方は種を前歯で割り中身の部分を食べます。大谷選手は1粒1粒口に入れていますが、慣れた選手は30～40粒を口の片側に詰め込み、1粒ずつ前歯で割り身を食べるとのこと。（選手がハッハッとしている映像をみかけますが、あれは殻のようです）ヒマワリの種はビタミンEやビタミンB1、食物繊維などが含まれ栄養価が高く、アメリカや中国ではおやつなどで食されているそうです。

ヒマワリパワーで今年の夏を乗り切りましょう！

## 思い出の花 ～ クローバー（シロツメクサ） ～

マメ科の多年草  
原産地・・・ヨーロッパ  
開花時期・・・5月～11月  
アイルランドの国花

花言葉・・・三つ葉の場合「私を思って」  
四つ葉の場合「幸運」



春から夏にかけて道端や公園などで多く見かけるクローバー。今でも四つ葉のクローバー探しは、大人も子どもも一緒に楽しめる自然の遊びです。花部分を使って冠作りをした覚えがありますよね。懐かしい気持ちがよみがえるお花です。

花束のような  
寄せ植え

# 「プランツギャザリング®」

知っていますか？

Plants

Gathering



出来上がった瞬間からふわふわ美しい！

根の付いた生きている植物達で作れます！

成長をゆっくり長く楽しめます！

それは・・・

根の付いたお花や植物達の下処理をして小さな花束を作り植え込んでいく新しい園芸手法です。

この手法は愛知県の実業家青木英郎（あおきひでお）により考案されました。そして約5年前にはじめて新潟にもプロの講師が生まれ新潟でもギャザリングの技術が習えるようになりました。プランツギャザリングの技術は日々進化しています。今までに演出することの出来なかった植物のニュアンスやデザインがこの技術により幅広く作れるようになります。花と葉っぱの無限な組み合わせが生きている植物で出来る、そして繊細に花束のようにふんわり憧れの寄せ植えを作ることができます。

これが生きているの？ こんなに混んでいて枯れないの？ どうやって作るの？

少しだけ頭を柔らかくして今までの寄せ植えの概念を一旦横に置いておいてください。

へえ！知らなかった！ わあ！素敵！ えっ！意外と簡単！楽しい！

に変わります♪ ギャザリングを作っているちょっと長めの時間、楽しく植物達と向き合うことが出来ます。新しいお花の楽しみ方ができ、出来上がりの美しさにも満足します。プレゼントにも♪

この新しい技術は新潟県にいる **JPGS (JapanPlantsGatheringSociety)** 講師から教えてもらうことで誰でも作れるようになります。こちらから新潟の講師が検索できます→ <https://plantsgathering.com/>

若い世代がお花離れしている近年、楽しく寄せ植えをつくれて、なおかつ、出来上がりから美しく飾れる。お庭なんてなくていい。玄関や窓辺のちょっとしたスペースがあれば園芸が出来る。

この魔法のような手法でこれからの若い人達にも園芸の楽しさを知ってほしいです。

新潟市花育マスター

(株)勝樹園 Garden&FlowerShop はなんぼ みずの ともこ



<発行・問合せ> 新潟市農林水産部 食と花の推進課 食育・花育担当

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 Tel: 025-226-1792 Fax: 025-230-0423

E-mail: [shokuhana@city.niigata.lg.jp](mailto:shokuhana@city.niigata.lg.jp)

【花育情報 no1 2019年8月発行】